



萩野 幸弘 議員
(緑風会)

一括質問
方式

人口減少の現状分析と 今後の展望は

問 当市の人口減少の現状分析と今後の見通し及び展望は。

答 当市の人口は合併時年度末の平成18年3月末で外国人を除き32,072人だが、平成24年3月末では29,774人と2,298人減少した。今後の見通しは、国立社会保障・人口問題研究

所の統計によれば平成32年には25,428人と推計されている。なお、当市の平成22年度の合計特殊出生率は1.82で、市では県内一であるが、人口を維持するための値は2.08であることから、決して高いハードルではないと捉えている。無論この問題はこの値だけで解決するも

のではなく、産業振興による雇用の場確保や、子育ての環境整備など、関連施策の効果的な実施等により、人口減少に一定の歯止めをかけたい。

教師による 体罰問題の 現状と対策は

問 教師の体罰について、当市の現状と対策の有無は。

答 平成23年度以前の過去5年間で、県内の体罰による教職員の懲戒処分件数は14件だが、当市に該当する事案は無い。現在市内の全小中学校の教員全てに対し、体罰禁止の指導及び体罰の有無を管理職の面談で個別に確認しており、児童生徒及び保護者にも質問用紙により実態の把握をしている。

問 言葉の暴力や無視に関する事案の有無と対策は。

答 市内全ての児童生徒に「いじめ」に関するアンケートを実施しており、児童生徒が精神的苦痛を受けていないか把握し、その事案があつた時は校長を中心に適切な対処をしている。

問 今後の教育的、指導的悪影響の懸念と対策は。

答 教師の日々の指導において最も大切な事は児童生徒との信頼関係を構築することである。教育委員会としても教職員の行動指針を示しながらしっかりと支援・指導していく。

【その他の質問】

- 転入者を増やす具体的政策の必要性について
- 既存企業・店舗等への支援対策について
- 復興道路整備を見据えたまちづくりについて



高清水展望台から望む遠野盆地